

第46回 ASPAC 年次総会 e大会

事務総長 吉村輝寿



第46回 ASPAC 年次総会は仙台で行われる予定でしたが、
新型コロナの影響で eConvention の形式で行われました。

1. 大会スケジュール

日付	日本時間	内容
5/28 (金)	9:30am	会場オープン (ASPAC の紹介)
	10:00am	開会式 開会の合図 (Ken Alovera ASPAC 議長) Yu Qing のコンサート (Make-A-Wish Malaysia とのコラボ) 
	11:00am	東日本大震災 10 周年メモリアル (小田忠雄) 地区ガバナー、国代表による報告
	1:00pm~1:30pm	各賞発表
5/29 (土)	9:30am	会場オープン (KI 副会長候補者紹介)
	10:00am	2021-2022 ASPAC 役員選挙
	11:00am	ASPAC 規約改正
	12:00nn~1:30pm	閉会式 (大会旗引き渡し) 

2. 大会の結果

- (1) 登録者数：2,906名（内、日本から1,132名）
- (2) 代議員数：181名
テスト投票数：84（定足数の50を満たしている）
- (3) 選挙結果

役職	氏名	所属地区/国	備考
ASPAC 議長	Clinton Green	ニュージーランド 南太平洋	
ASPAC 次期議長	Belle Garcia	フィリピン・ルソン	
ASPAC 副議長	Sujan Shrestha	ネパール	
キワニス国代表	Judy King	香港	
	Shweta Shahi	インド	
			次回 ASPAC 役員会で決定

次年度 ASPAC 役員（選挙ではなく任命）

役職	氏名	所属地区/国
ASPAC 事務総長/財務担当	Graham Chick	ニュージーランド南太平洋
ASPAC 大会組織委員長	Raymund Gerard Yap	フィリピン・ルソン

(4) 規約改正

	内容	結果
1	字句訂正などの細かな改正	可決（98%:2%）
2	緊急事態のため年次総会が開催できない場合に「広域代議員による特別集会」を開催できるようにする改正	可決（90%:10%）

(5) 将来の開催地

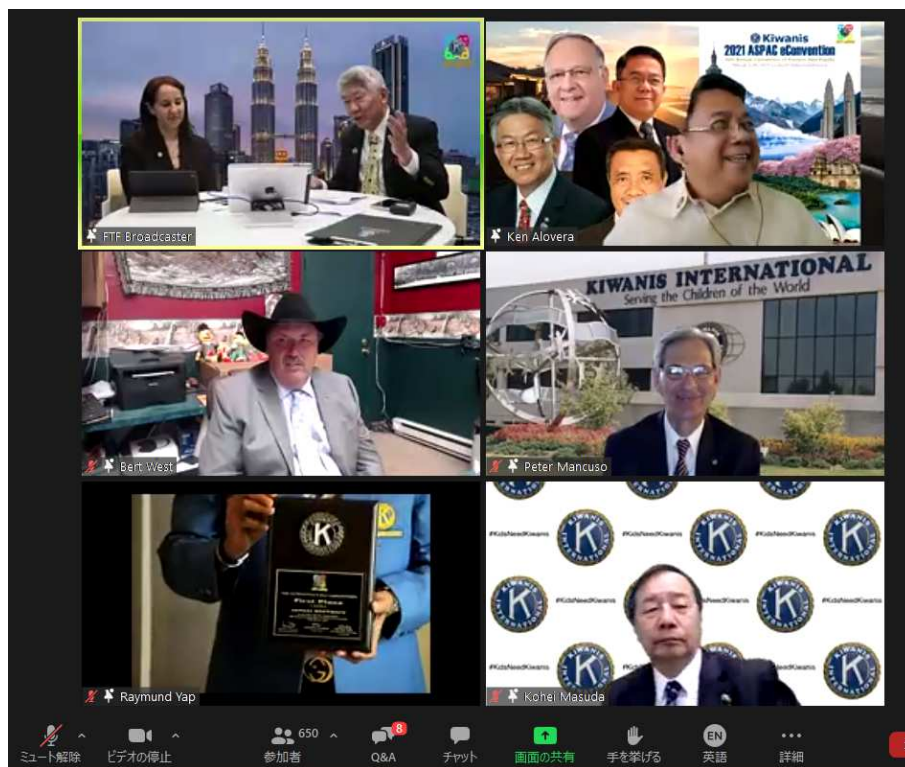
2024/3/7-9	アデレード（オーストラリア）
------------	----------------

(6) 各賞

賞	順位	受賞地区/国	
奉仕プロジェクト賞	1位	オーストラリア	
	2位	フィリピン南	
	3位	インド	
ガバナー報告賞	1位	フィリピン・ルソン	
	2位	台湾	
国報告賞	1位	モンゴル	
最多参加者賞	1位	日本	
	2位	台湾	
	3位	フィリピン・ルソン	
最多参加率賞	1位	日本	56%
	2位	ネパール	16%
	3位	マレーシア	7%
特別賞（Special Mention Award）		韓国	

3. 日本地区関連

(1) 日本地区からは 1,132 名が参加。最多参加賞と最多参加率賞の一位を受賞しました。

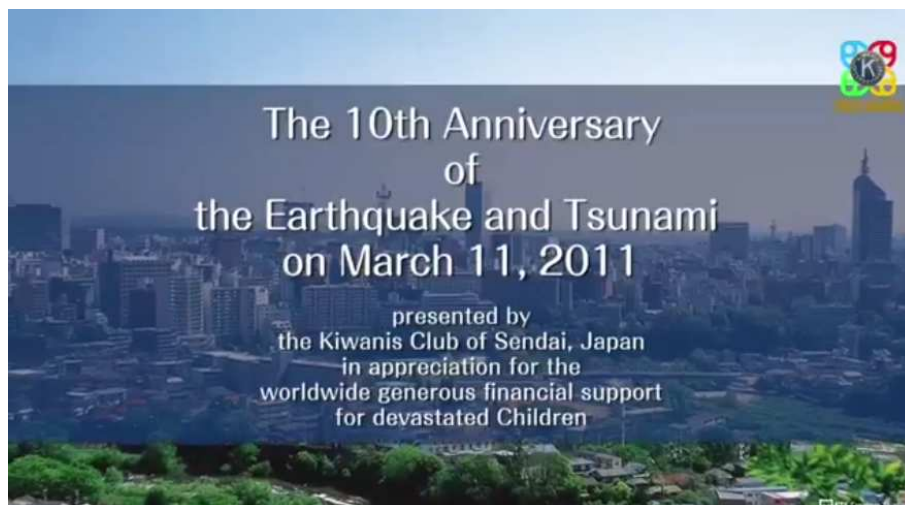


(2) 増田ガバナーが日本地区の活動報告を行ないました。内容は以下の通りです。



- 不確実性の時代に私たちにできること
コロナ禍の中、感染防護用品、オンライン学習機器、食料などの寄贈に加えて支援金の寄付を各クラブが積極的に行ないました。
- 安全対策
また活動を安全に行なうために、例会、クラブ新設、キワニスドール・プロジェクト、クラブ・プロジェクトに於いてバーチャルの活用やマスクの着用、アクリル板の設置など様々な対策が取られました。

(3) 東日本大震災 10 周年祈念ビデオ



本来であれば仙台大会の参加者に東北の復興状況を直接視察してもらはずでしたが、コロナの影響で実現出来ませんでした。その代わりとして現在の東北の状況がビデオで報告されました。具体的には各国の会員から送られた約 50 万ドルの義援金に対する謝辞と基金設立等の報告があった後に、志津川と石巻の復興状況が紹介されました。

4. 大会の感想

(1) 仙台大会が新型コロナウイルスの影響で中止となり初めてリモートで行われた ASPAC 大会でしたが、実行委員会の努力で予定されたスケジュールを無事に終了することが出来ました。各国の発表もネットを意識したものが多く、休憩には参加者が飽きないようにビデオを流すなど、内容的にも工夫が見られた大会でした。



(2) 但し、技術的なトラブルも発生しました。まず、現地の設定の問題から開始から暫く日本語通訳なしの状態が続きました。また、仙台会場からの中継が行われず、代議員の ZOOM の名前が変更られず、チャットの Q&A の回答が行われなかったなどのトラブルも発生し、国際的なリモート会議の難しさを痛感しました。

(3) 日本地区は増田ガバナーの呼びかけに各クラブが積極的に対応し、参加国中最大の 1,132 名の登録が実現しました。その結果、最多参加賞と最多参加率賞を獲得できたのは誠に喜ばしいことでした。また、参加者が ZOOM を通し会議に参加することでキワニスが国際的な組織であることを実感でき、会員拡大など今後の活動にも良い影響を与えたいと思います。